

報道発表

平成30年2月21日
名古屋税関
中部空港税関支署

平成30年1月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年1月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「医薬品」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「電気計測機器」、「自動車用等の電気機器」などが増加したことから対前年同月比12.7%の増加となった。また、輸入は「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「有機化合物」、「原動機」、「医薬品」などが増加したことから、同20.8%の増加となった。

その結果、差引額は234億円（同51.0%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	658億円	+12.7%	892億円	+20.8%	▲234億円	+51.0%
	9カ月連続の増加		7カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	48億円	+100.1%	輸	増加品目	(1) 有機化合物	120億円	+360.9%
		(2) 電気計測機器	60億円	+31.3%			(2) 原動機	106億円	+66.4%
		(3) 自動車用等の電気機器	18億円	+163.7%			(3) 医薬品	115億円	+17.5%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	51億円	▲24.0%	入	減少品目	(1) 半導体等電子部品	80億円	▲10.1%
		(2) 医薬品	6億円	▲55.3%			(2) 電気計測機器	19億円	▲14.1%
	主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが増加		

（参考）ドルレートは、112.47円（前年同月比3.4%、4.01円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。